

川崎市の訓練実施結果

訓練の目的	首都直下型地震等の地震災害の発生に備え、自助・共助・公助の理念に基づき、市民、自主防災組織、企業、市及び関係行政機関等が迅速な初動活動と災害応急対策を確立するとともに、市民の防災意識の高揚及び地域防災力の強化を図ることを目的とする。
日時	令和6年8月26日(月) 10:30~12:00 (救援物資受入訓練のみ) 令和6年9月1日(日) 9:00~12:00 ※荒天のため中止
会場	1 川崎市立柿生小学校 社会福祉法人一廣会特別養護老人ホームかないばら苑 (避難所運営訓練、二次避難所移送訓練等) 2 麻生水処理センター あさおふれあいの広場 (救出救助訓練・ライフライン復旧訓練) 3 福山通運横浜支店(救援物資受入訓練)
規模	参加予定機関(団体) 66機関 参加予定人員 500人
想定地震	川崎市直下を震源とするマグニチュード7.3の地震、市内最大震度7
訓練項目	1 自主防災組織による初動対応訓練、避難所開設・運営訓練、避難所医療訓練、二次避難所移送訓練、区本部訓練 2 救援物資受入緊急輸送訓練 3 燃料補給訓練 4 災害ボランティアセンター運営訓練 5 市民参加型訓練 6 啓発・展示 7 情報収集・道路啓開・緊急交通路確保訓練、救出救助訓練、一斉放水訓練 8 ライフライン復旧訓練
訓練の特徴	「大地震発生当日」「大地震発生から3日後」と、2つの災害フェーズに分けて実施する。 1 「大地震発生当日」を想定した訓練 発災直後の市街地において、自主防災組織による救助や初期消火活動、避難所開設等の共助の活動を実施する。また、市及び各防災関係機関が相互に連携して、情報収集や道路啓開、救出救護活動を実施する。 2 「大地震発生から3日後」を想定した訓練 発災から3日経った避難所を中心に、避難所運営訓練や医療・福祉関連の訓練を実施するとともに、緊急物資輸送訓練や燃料補給訓練を行う。また、ライフライン事業者等による応急・復旧活動の訓練を実施する。

	<p>3 展示・啓発等 柿生小学校において、関係機関・企業等による展示・啓発等を実施する。</p>
<p>参加機関</p>	<p>【行政機関】 陸上自衛隊第3 1 普通科連隊、自衛隊神奈川地方協力本部、気象庁 横浜地方気象台、神奈川県警察（危機管理対策課・第二機動隊・麻生警察署）、神奈川県福祉こどもみらい局地域福祉課（神奈川 DWAT）</p> <p>【教育機関】 神奈川県立麻生支援学校</p> <p>【指定公共機関・指定地方公共機関】 （株）NTT 東日本 神奈川事業部、東京ガスネットワーク（株）（川崎支店、神奈川導管ネットワークセンター）、東京電力パワーグリッド（株）川崎支社、日本赤十字神奈川県支部</p> <p>【協定機関】 （一社）神奈川県トラック協会川崎サービスセンター、（一社）川崎市電設工業会、（一社）川崎建設業協会麻生特設作業隊、（公財）かわさき市民活動センター、川崎地区ケア輸送連絡会、川崎市管工事業協同組合、赤帽首都圏軽自動車運送協同組合神奈川県支部、神奈川県石油業協同組合川崎北支部、神奈川県 LP ガス協会川崎北支部、福山通運横浜支店</p> <p>【医療機関・医療関係機関】 （公社）川崎市医師会、（公社）川崎市歯科医師会・麻生区歯科医師会、（公社）川崎市看護協会、（公社）川崎市薬剤師会、（公社）神奈川県栄養士会、（公社）神奈川県柔道整復師会、（一社）川崎市助産師会、（一社）川崎市薬剤師会、聖マリアンナ医科大学病院、日本医科大学病院武蔵小杉病院、麻生総合病院、川崎市立川崎病院、川崎市立井田病院、川崎市立多摩病院</p> <p>【企業・団体】 （一社）地域社会支援ネットワーク神奈川、（一社）助けあいジャパン、（社福）神奈川聴覚障害者総合福祉協会 川崎市聴覚障害者情報文化センター、（社福）一廣会特別養護老人ホームかないばら苑、（社福）川崎市社会福祉協議会、（社福）川崎市社会福祉協議会 川崎市麻生区社会福祉協議会、（公財）川崎市消防防災指導公舎、特定非営利活動法人日本防災士機構、Linkmama、ペットとぼうさい、麻生区聴覚障害者協会、麻生区身体障害者（児）団体協議会、認定 NPO 法人チーム・ユニコン、（株）ジェイコム湘南・神奈川 町田・川崎局、（株）富士通ゼネラル、（株）三和、（株）アクティオ、アジア航測（株）、麻生自主防災組織連絡協議会、柿生小学</p>

校避難所運営会議

【川崎市関係機関】

川崎市男女共同参画センター、川崎市国際交流センター、麻生消防団

【九都県市広域応援協定自治体】

埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、横浜市、千葉市、さいたま市、相模原市